

2018年5月16日

トヨタ車体、「人とくるまのテクノロジー展 2018」に出展

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）は、5月23日（水）から25日（金）までパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2018」（主催：公益社団法人 自動車技術会）に出展し、環境および福祉に関する製品を中心にトヨタ車体の製品・技術を紹介いたします。また、7月11日（水）から名古屋で開催される同展示会*1にも出展いたします。

1. 出展内容

環境の分野では、木材のサイズを小さくしていく中で発現する強度や吸音性能を活かした三種類の材料を展示します。具体的には、木粉、パルプ、セルロースナノファイバーを使った材料の性能を紹介し、木材からつくる材料の今後の自動車部品への応用の可能性について提案いたします。



木粉



パルプからつくった吸音材



セルロースナノファイバー強化ポリプロピレン複合材料

また、スギ間伐材を強化繊維として使用し、熱可塑性樹脂*2と組み合わせた射出材料TABWD®（タブウッド）も展示します。TABWD®は、これまでランドクルーザーのフォグランプブラケットやアルファードハイブリッド車などのエンジンルーム内のワイヤーハーネスプロテクター*3として採用され、既存の射出材料に比べ10%の軽量化を図っています。



TABWD



フォグランプブラケット



ワイヤーハーネスプロテクター

* 1：人とくるまのテクノロジー展 2018 名古屋（会期：7月11日～7月13日、場所：ポートメッセなごや）出展小間番号：17

* 2：適当な温度に加熱すると軟化し、冷却すると固化する変形しやすい性質の樹脂

* 3：配線をまとめかつ保護する目的で取り付ける部品

世界のくらしに 笑顔届けたい



福祉の分野では、昨年12月にトヨタ自動車株式会社より発売したトヨタ自動車との共同開発のヴォクシー、ノア、エスクァイアのウェルキャブ“車いす仕様車タイプⅢ（電動ウエルチェア+ワンタッチ固定装置）”のワンタッチ固定装置を展示します。高齢者が高齢者を介護する「老老介護」の世帯が増加するなか、車いす乗降時の固定・解除手順を簡略化し、介助者が手順を覚える負担や介助者の姿勢の負担を軽減しています。また、電気を使わず、走行中の車いすの揺れを利用し、固定剛性が向上する「くさびロック構造」についても紹介いたします。



ノア ウェルキャブ 車いす仕様車タイプⅢ



ワンタッチ固定装置

2. 出展場所：小間番号 316

トヨタ車体は、これからも世界中の暮らしに寄り添い、お客様の生活を支え続ける“もっといいクルマづくり”に向け、製品や技術の研究、開発を進めてまいります。

以上

